
80
なんの
数字だろう?
200
伊勢志摩国立公園のひみつを調査!
4つの数字にかくされた
ナゾを解き明かそう!
ナゾの答えは裏面に!
96
10.6



第二次世界大戦後の1946年11月20日に、戦後日本で最初の国立公園に指定されたのが、ここ伊勢志摩です。みなさんが暮らすこの場所には、美しい海や森がたくさん残されています。これは、伊勢志摩国立公園が誕生してから80年間、多くの人たちが力を合わせて、豊かな自然を守ってきたからです。そして、次にそのバトンを受け取るのは伊勢志摩に住む小学生のみなさんなのです。

伊勢志摩が国立公園に指定されてから今年(2026年)で…

80周年





20年に一度行われる式年遷宮では、鎌倉時代まで伊勢神宮の周りに広がる森のヒノキを使って、おやしろを建てかえていました。それからしばらくして、ヒノキが十分に採れなくなり、他の地域の木材が使われるようになってしまいました。そして今、200年という長い時間をかけて伊勢神宮の森で再びヒノキを育てる計画が進められているのです。

伊勢神宮の式年遷宮で使う木を育てるためにかかる時間は…

200年

伊勢志摩国立公園の私有地の割合は…

96%

日本には全部で35か所の国立公園があります。その中でも、伊勢志摩国立公園の大きな特ちょうは、長い間たくさんの人と自然が助け合いながら生活してきたということです。これは国立公園のほとんどが私有地であることにも表れています。伊勢志摩に暮らす人々の日常は、海や山、森といった自然と切っても切れないキズナで結ばれているのです。みなさんが住む伊勢志摩は、とても特別な場所なんですよ。



海女さんが採ってもいいアワビの大きさは…

10.6cm

海女さんとは、息を止めて海にもぐり、アワビやサザエをとる女性たちのことです。全国に1200人ほどいる海女さんのうち、約500人が鳥羽市と志摩市に暮らしています。そんな海女さんは、貝を採り過ぎないよう気をつけながら海にもぐっています。「すんぼう」という道具を使って、10.6cm未満の十分に成長していないアワビは海に放します。海女さんの仕事は貝をとることだけでなく、守ることでもあるのです。

出典：読売新聞「2023年全国16県調査」

